



玉川村立  
玉川第一小学校

自ら取り組み、心豊かでたくましい子ども



令和3年11月24日

No. 19

文責：校長 酒井

# 学校だより 玉一っ子通信



## 回想 マラソン大会



〈あとちょっと、もう少し〉

11月11日のマラソン大会では、沢山の声援をいただきましてありがとうございました。抜けるような秋晴れの下で、子ども達の元気な姿をお見せできたこと、とてもうれしく思います。また感染症の影響で運動会に来ていただけなかった祖父母の皆様のお支度も得て、子ども達もいつも以上にはりきりました。

さて、長年続く本校のマラソン大会ですが、今年は運動会を10月としましたので、マラソン大会までが「スポーツの秋」となりました。しかし、マラソン大会は運動会と違って、子どもたちには必ずしも楽しみな行事とはならないようです。それなのになぜ行うかと言えば、大きく次の3つの目的があると考えています。

- 長い距離を走る有酸素運動は、体力がつくだけでなく、心肺機能をはじめ様々な内臓器官を強くする。
- 苦しさに耐えながら、ねばり強く取り組むことで、忍耐力がつく。
- 大会の目標を決め、それに向かって計画を立て練習することで、マネジメント能力が身につく。

大会の成績も大切ですが、当日までの取り組みが重要になります。水泳と一緒に、しっかり取り組みれば必ず結果に繋がるのもマラソン（長距離走）の特徴です。しかし、苦しいのがマラソンです。大会を前に少しずつ不安が大きくなります。ですから、その不安を払拭するためにも練習が大切になります。学校では、体育の時間はもちろん、朝の時間も活用してあの手この手で、一人一人に声をかけ励ましなが、練習に取り組ませてきました。休みの日にコースでの試走を行ったご家族もあったと伺いました。教員、家族、様々な人の思いを背に走りきった子も多くいたはずですが。

大会では、スタートしてすぐに転倒してしまい、泣きながら走りきった子、途中で靴が脱げてしまっても気にせずゴールした子、今年初めて最後まで走りきることができた子と、子どもたちの一生懸命の姿を随所に見ることができました。大会ですから、順位も明らかになります。足の速い子、成績のよかった子が称賛されるのはもちろんです。しかし、目標の順位に届かなかった子、ライバルに負けてしまった子、大会前のプレッシャーから登校を渋ったり、体調を崩し当日参加できなかったりした子にとってもやはり**貴重な体験**です。そこには間違い無く**全校生236名それぞれにドラマ**がありました。他の行事もそうですが、学校でなければ経験できない、**集団でなければ体験できない行事**がマラソン大会です。どの子も不安に打ち勝とうと必死でしたので、保護者の皆様の声かけや沿道からの声援をどんなに心強く感じたか知れません。

大会の翌日、校庭を楽しげに走る児童の姿が数多くありました。逞しい「玉一っ子」にまた一歩前進です。

## ＜ 祝 各部門の優勝者 ＞



## 学校の取り組みに関するアンケートより

学校アンケートへのご協力ありがとうございました。  
アンケートは只今集計作業を進め、結果として後日お伝えします。その他、学校の取り組みについて下記の通り、貴重なご意見を数多くいただきましたので、現時点での方向性としての校長の考えをお伝えします。なお、今後全職員、評議委員、PTA執行部、教育委員会等の意見をいただきながら正式に決定します。

### 記

#### <意見> 運動会について（日程・内容）について 3件

- 時季を春に実施してほしい。
- 種目を少しずつ増やしてほしい。
- 6年生の帰りを待つのに時間がかかったので、待つ場所を確保してほしい。

#### <返答>

時季については、今後検討します。全体の行事や他校（中学校）との関係もあるので、現時点で春の開催はお約束できません。ただ、今年度は天候が思わしくなく気温が低かったという反省は多く聞かれましたので、前向きに検討します。種目については、感染症の状況を見極めながら臨機応変に進めたいと思います。

6年生の待つ場所については、配慮が足りなかったと反省しています。

#### <意見> 運動着の半袖について 2件

- 白色は汚れが目立つので紺色にしてほしい。
- 紺色を標準にしてほしい。

#### <返答>

今年度は、4年生以上の自由購入としましたので、運動会と鼓笛パレードについては白色の半袖としました。次年度以降については紺色のシャツの機能面等の感想を広くいただきながら、検討したいと思います。

#### <意見> 日常のマスクの着用について 1件

- 屋外や登校下校時はマスクを外させてほしい。

#### <返答>

息苦しさから体調を崩すこともあるので、体育の時間や運動するときは外すように指示しています。屋外の活動や登下校はそれぞれの内容や状態によると考えています。バスの中などは当然つけるよう指示していますが、少ない人数で徒歩により登下校する場合は外してもよいかと思えます。「みんなで歩こう大作戦」の時は人数も多いので原則マスク着用させています。

#### <意見> 縦割り活動はどのような方針で進めているのか知りたい 1件

#### <返答>

縦割り班活動は、玉一小の特色の一つです。複数の学年が一緒になって掃除を行ったり、行事に参加したりしながら、上学年は思いやりの心を持って下学年の子どもたちに接し、下学年の子どもたちは憧れを持って上学年に接することはとても大切なことと考えています。異学年が接する中でお互いを尊重する心や慈しむ心が成長します。互いを認めあう経験は今後の成長に欠かせないものです。兄弟が少ない今、他の学年とふれあう貴重な時間を学校では意図的に設定しています。ただ、一方でトラブルも確かにあります。しかし、それもまた経験です。「けんかをしながら失敗をしながら子どもは成長するもの」が玉一小の共通認識です。どうぞご理解ください。

お褒めの言葉や励ましの言葉も数多くいただきました。今後も保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、スタッフ一丸となり、子どもたちのために思い切った教育活動を進めて参りたいと思えます。

